



いろいろなクラスのこと

昨日雨の話を書いたら、今日は朝から抜けるような快晴である。気持ちがいイ…かという、朝から太陽に照らしつけられて、ちょっとグツタリ気味か（笑）。それにしても、昨日までの雨も「シトシト降る梅雨の雨」といった感じではなく、まるで南国のスコールのような印象であった。ジワジワと温暖化が進行しているのであろうか？

閑話休題。クラスも2年目になると、ずいぶんイイ雰囲気であるなあと、この前の学級タイムの様子を見ながら思っていた。星陵祭の係ごとの打ち合わせでは、教室の後ろの方で段ボールを加工し始めている人がいるし、前の方では黒板を使っての演技練習の日程調整が進行中。席替えも、やり方に関するとてもないアイデアが突然表明されたりしても、最終的には時間内にしっかり決まっている。もちろん、思い通りの席になれてうれしい人もいれば、M井先生の攻撃を受けること必至の危険な（幸福な？）場所に決まった人もいたりして、それはそれで悲喜交々ではあるのだろうが、それさえ楽しそうに受け入れているところがイイ雰囲気と感じられるのである。こんな外野的な感想を気楽にかけるとも2年目の担任のイイところであろう。

ちなみに、15Rの時、授業態度が思わしくなくて成績が下降した際には、「市松模様型」の座席配置、つまり、男女の位置を交互に固定した座席配置にした。これは35Rでも同様である。今後、先生方から席替えをしたが故に授業態度や成績面での苦情が届くようになったら、席替えを敢行する予定である。そうならないように、授業だけはケジメをつけてしっかり受けること。

*

試験直前に駅で転んで足を怪我した●●さんは、部活の引退試合も近く無念な思いかも知れないが、「審査中の君の足置きを運ぶ奴隷を決めなさい」といった時、サッと●●クンを指名したのはなかなか立派であると思った。ああいう時、選択科目が似ているからといった判断基準をすぐに思いつき、それに合わせながら「奴隷」たるにふさわしい体力の持ち主の●●を躊躇なく指名できるというのは、やはり一つの頭の回転の速さの現れだろうと思う。立派である。

朝、6時25分ごろに永田町駅についてコンビニでお昼ご飯を購入した後、学校に向かって歩いていると、私から200メートルくらい先を歩いている女子がいて、それが●●さんである。朝、自習室で勉強しているようだ。

先日、選択科目の変更の相談を受けた。もちろん、今から変更はできるわけではないが、自分の進路をある程度はっきりさせることによって、やるべきことが見えてきたということだろう。中間審査が終わり、いろいろと見直すべき時期に来ている。また面談も始めるが、自分の進路や勉強法などについて、再度確認してみよう。「～はやりたくない」とか「～は不得意だから」といったネガティブな理由での変更は、もう一度立ち止まって冷静に考える必要があると思うが、「～がやりたいことが分かった」とか「～の勉強法が分かってきた」といったプラスの方向での修正は十分に検討の価値がある。

センターまで今日であと218日。まだまだ有効に活用できる時間がある。